

枚中だより

東大阪市立枚岡中学校

No. 1 平成31年4月24日発行

小中一貫教育スタートの年に

校長 田中裕章

4月5日、本校第73期生205名を迎え、全校生徒656名でスタートしました。本年度、東大阪市では全市的に小中一貫教育がスタートします。昨年度、「プレ実施」として、6年生のときに中学校登校をしましたので、新入生も例年よりもスムーズなスタートができたように感じております。

先日も、東、西の両小学校の6年生が早速、中学校に登校し、生徒会の役員が中学校での生活を紹介したり、2年生の学級代表が引率して校内を案内したりと活躍してくれ、6年生の中学校登校の1回目を行いました。次回は5月にも、6年生が登校して中学校で過ごす機会があります。

また、小中一貫教育の取り組みとして、東大阪市では、独自教科「未来市民教育」を全市で小中学校共通のテキストを使って、「夢TRY科」の授業が始まっています。

さらに、今年度は中学校で「道徳」が教科としてスタートする年でもあります。授業としての取り組みは以前からありましたが、今年度からは「特別の教科」として文章表記による評価もつけることとなります。教職員は、ここ数年、道徳の教科化に向け研修を重ねて、しっかりと準備を行ってきたところです。

加えて、この2月に大阪府から「公立学校に係る部活動の基本方針」が策定されたことに伴って東大阪市でも「市立学校に係る部活動の方針」が示され、今年度、各学校においても「部活動に係る活動方針」を作成し、先日お配りしたとおり実施することとなりました。何とぞご理解いただきますようお願いいたします。

今年度、中学校においては新しいことがいくつも始まることとなります。今年度も学校と家庭が手を携え、地域の方々のご協力も頂き、子どもたちのより良い成長に尽力したいと教職員一同、気持ちを新たにしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



枚中トピックス：頑張っています、枚中生

○ ラグビー部

＜ 第9回54年カップラグビー大会 ＞ 3月25日
第2位 枚岡中学校

○ バレー部

＜ Osaka Volleyball Festival ＞ 3月30日
第3位 枚岡中学校

○ 硬式テニス

＜ 大阪ジュニアサテライトキープスマイリング大会 ＞ 3月29日
16歳以下男子シングルの部 第2位

＜ 鶴見緑地杯大阪ジュニアサテライト大会 ＞ 3月30日
16歳以下男子シングルの部 第3位

○ アート部

＜ サクラクレパス創美活動 ＞ 4月
努力賞 71期、72期アート部



前期生徒会の認証式です。
枚岡中学校の代表として頑張ってください。

離任式の様子です。
先生方、
ありがとうございました。



平成31年度 生徒数

	1年生	2年生	3年生	計
男子	105人	117人	125人	347人
女子	100人	98人	111人	309人
計	205人	215人	236人	656人



平成 31 年度 教職員

1 年			2 年			3 年		
1 組	井本 幸司	社	1 組	南 優祐	社	1 組	坂田 明	社
2 組	丸谷 怜央	音	2 組	加藤ちひろ	国	2 組	藤 あゆみ	数
3 組	浅尾 弘晃	理	3 組	江淵 太地	数	3 組	桑田 菜摘	理
4 組	笠井 優	数	4 組	山中 聡美	理	★4 組	松浦 雅美	英
5 組	岡田 英明	英	5 組	後藤 千尋	国	5 組	阪本久美実	体
6 組	二宮 梨奈	体	6 組	福本 明	社	6 組	村中 祥晃	英
★2,4 副	横井啓史朗	国	★5 副	入江 賢	技	1、5 副	田平 優子	英
1 副	明石 咲紀	数	1、6 副	大塚千恵美	数	2 副	芳仲進之介	理
3 副	太田みどり	英	2 副	勝田 真平	英	3、4 副	古川佳名子	家
5 副	上田 美和	英	3 副	松村美登利	英	6 副	吉田 恵	美
6 副	香川 正行	社	4 副	山田 陽平	体			
	楠 眞依	音	小中一貫	谷口 陽子	国	生徒指導	池田 滋博	体
特別支援	前田 幸一	国	特別支援	中野 秀彦	数	特別支援	阪森 清司	数
特別支援	辻 真梨香	国	特別支援	安田 慎司	体	保健室	谷村 智美	
校 長	田中 裕章	理	教 頭	金岡 一磨	技	事務	水野 寿子	
事務	津田 敬次		S H	山口 齡子		校務員	竹中 順一	
A L T	Argel Corpus	英	S C	山本 彰子		民族講師	林 明 秀	

★印は学年主任の先生、SH はスクーラーヘルパー、S Cはスクールカウンセラー

1 年間、よろしくお願ひします。



着任された先生方 () 内は前任校

水野先生 (石切小)、阪森先生 (池島中)、太田先生 (長瀬中)、山田先生 (金光藤蔭高)、
田平先生 (若江中)、古川先生 (大阪学芸中等教育学校)、加藤先生 (石切中)、
明石先生 (立命館中)

離任された先生方 () 内は赴任校

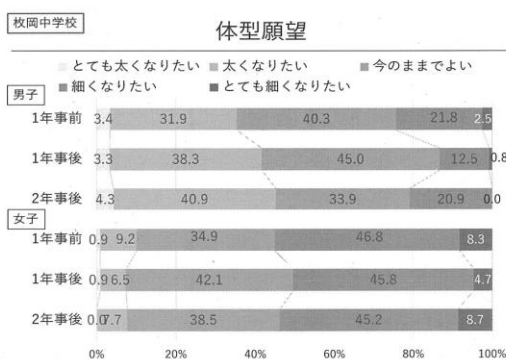
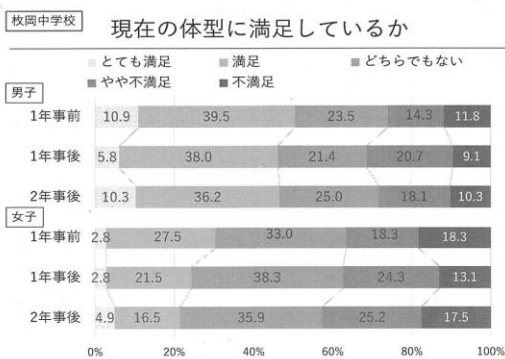
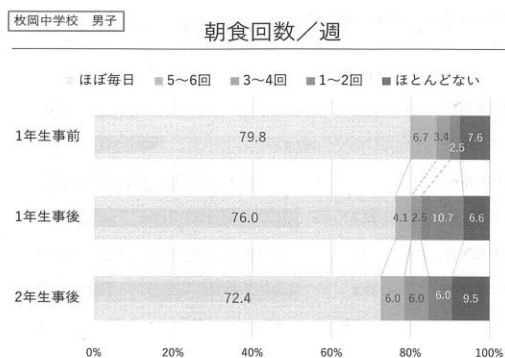
木村廣代先生、宇敷典子進先生、森本繭先生、藤原正明先生、林喜世子先生、
松下未侑先生、石野龍大先生、石崎智美先生、南野美咲先生、高田健吾先生、
糸川奈央先生



食育関連調査の結果についての分析

本校では、数年前より毎年、大阪市立大学の栄養教育研究室の早見先生の「食生活と心身の健康調査」に協力し、生徒のアンケートを分析しています。質問の内容は多岐にわたっていましたが、分析結果を一部紹介します。

現在3年生（71期生）が1年生の6月と2月、2年生の2月の3回の調査で週当たりの朝食をとる回数をまとめたものが下のグラフの上段の2枚で左が男子、右が女子です。女子は1年生からほとんど変化していないのに対し、男子は学年が進むにつれ、朝食をとる回数が減っていていることがわかります。昨年も書きましたが朝食をとらない生徒の割合が高い本校で、学年が進むにつれ増加しているのが気になります。



下段の2枚のグラフは体型の満足度や体型願望についての調査です。男子よりも女子のほうが満足している人の割合が少なく、体型としては女子は半数以上の生徒が細くなりたいと願っていることがわかります。ここで枚中生の特徴として挙げたのは「理想の体型になるための情報源（要するに誰に相談するか）」を尋ねた答えとして、「父母」「家族」と回答した生徒が他校に比べとても多い結果であったことです。これは、家庭での会話が豊富であるという地域性、家庭の力を感じるところでした。

さまざまな内容で家族で健康についての会話が弾むというのは、とても素晴らしいことだと思います。これからもそんな時間を大切にしていだけたらと思います。